

まちがと ピンナッツ

～関金海洋センターカヌー教室受講生～

好成績で全国大会へ

6月21日(日)

東郷湖特設カヌーコースで開催された「鳥取県小中学生カヌー大会」に、カヌー教室受講生が参加し、出場者全員が入賞しました。この結果、7月25日(土)、26日(日)に山梨県で開催された全国大会への出場を決めました。

入賞者は次のとおりです。おめでとうございます。

○3・4年チャレンジ普及艇の部

3位：岡本 そらさん(小鴨・3)

○5・6年チャレンジ普及艇の部

優勝：若林 加苗さん(小鴨・5)

○3・4年エキスパート普及艇の部

優勝：小原 健吾さん(明倫・4) 2位：竹内 祐太朗さん(関金・3)

○5・6年エキスパート普及艇の部

優勝：松田 奈々さん(社・5) 2位：大西 晃一郎さん(河北・5)

○5・6年JK-1の部

優勝：松下 潔香さん(小鴨・5) 2位：中江 加那さん(小鴨・5)



～緑を守り育てていこう！～

緑の観察会

6月28日(日)

ははき
波波伎神社(福庭)の森で、緑の観察会が行われました。参加者は、「森のたいせつさ」の話を聞いた後、森の樹木に名札を設置したり、幹の周りの長さを測ったりして、樹木の大きさを肌で感じていました。また、森の中を散策しながらレクリエーションを楽しみました。

～倉吉市小・中学生～

淀屋サミット

7月4日(土)

豊田家住宅・倉吉淀屋を会場に、淀屋サミットが開催され、倉吉市内全小・中学校の代表28人が集いました。

参加した児童・生徒は「倉吉淀屋」の講談を聞いた後、グループに分かれて各学校の特色ある取り組みを紹介しあったり、倉吉のまちづくりのために自分たちができることについて話しあったりして、各校のリーダーとして立派に協議していました。

共通して実践できることとして、「公民館や地域の皆さんと協力し、天神川流域の河川敷に菜の花の種をまこう」との意見が出されました。これをふまえ『21世紀を生きる私たちの宣言』を採択し、今後活動していくこととしました。



～青空のもと、プレイボール！～

鳥取キタロウズ vs 茨城ゴールデンゴールズ 7月5日(日)

グリーンスタジアム倉吉(市営野球場)で、我らが鳥取キタロウズと萩本欽一監督率いる茨城G G(ゴールデンゴールズ)の交流試合が行われました。欽ちゃんの軽妙なトークと、点を取りつ取られつの熱戦に球場は大いに盛り上がりました。試合は、キタロウズが先制しましたが、茨城G Gが逆転し、5-3で接戦を制しました。



▼「倉吉が好きだということはだれにも負けたくない」と語る、丁田さん



代表で謝辞を述べる、清水さん▲

～倉吉に勤めて良かったと思えるまちづくり～

平成21年度 倉吉市商工従業員激励大会 7月10日(金)

倉吉未来中心 小ホールで商工従業員激励大会が行われ、市内事業所に10年以上勤務した永年勤続者の表彰および、永年勤続者・新規就職者に記念品が贈られ、被表彰者を代表して、清水恵美子さん(日本交通株)が謝辞を述べました。

また式典の後には、倉吉を舞台にした小説「どがでもバンドやらいでか!」の著者、丁田政二郎さんが倉吉弁で激励講演をされました。

～ニュースポーツ交流会～

ソフトバレーボール大会 7月12日(日)

市営体育センターにおいて、平成21年度第1回ニュースポーツ交流会・ソフトバレーボール大会が開催され、参加者はさわやかな汗を流しました。

11チームが参加する中、見事熱戦を制し、「トロピカルY・G」が優勝しました。



▲優勝した、「トロピカルY・G」

▶表彰状を披露する、山中さん
※問合せ先…生涯学習課(TEL 22-167 / FAX 22-1638)



これは、20年にわたり体育指導委員として活動され、市内外をはじめ各地区での体育行事や、スポーツ教室などの企画運営に積極的に参画されていることが高く評価されたものです。
今後のさらなるご活躍を期待します。

7月4日(土)、5日(日)、岡山県倉敷市で開催された平成21年度中国地区体育指導委員研修会で、山中美智子さん(社地区)が功労者表彰を受賞されました。

中国地区
体育指導委員
協議会
功労者表彰

ハート・バリアフリー

倉吉市人権政策課

TEL22-8130/FAX22-8135

町内学習会が始まります。参加してください！

昭和49年（1974年）から倉吉市内の全町で実施された学習会で、部落問題について正しいことを知ろうということから出発し、毎年各町内で同和教育町内学習会が開催されています。

「解放への道筋を見据えて」

部落問題をはじめ、障がいのある人の人権問題、男女の人権問題、在住外国人の人権問題、先住民族の問題、子どもの人権問題、高齢者の人権問題、そのほかマイノリティの人権問題など、あらゆる人権問題についての学習の場として、各町で同和教育町内学習会が毎年開催されています。近年は大人だけの学習会ではなく、中学生や小学生の参加もあり、幅広い世代の参加が見られます。

倉吉市同和教育研究会・教育活動委員会では、この町内学習会の推進に役立つ資料として、小冊子「くらしに根ざして心あらたに」解放への道筋を見据えて」町内学習会資料編No.7」を発行しました。

「差別はもうなくなったの？」

「部落差別はもうなくなったのではない」「私は差別してはいないから自分には関係ない」という意見を聞くこともありますが、今もなお、さまざまな場面で差別は残っています。自分だけで考えていると見えないことや思い込んでいることがたくさんあります。さまざまな人の意見を聞き、知識を広げることで自分の考え方や行動について改めて気づき、自分の考え方を直したり、行動を再確認したりすることが出来ます。

一人ひとりが大切な存在です。差別の現状を正しく知り、差別を見抜く力をつけ、差別のない住みよい町づくりを進めるために、積極的に町内学習会などに参加し、行動していきましょう。

小冊子には、小鴨地区や上北条地区、上井地区、社地区、高城地区、などでの町内学習会の実践事例や地区同和教育研究会での取り組み、小中学校の学習資料として人権作文、中部地区の高等学校での実践事例などが掲載されています。

町内学習会などでの手引きとしてぜひ活用ください。

人権のために学ぶ

同和教育講座③（受講料無料）

とき…8月22日（土）午後1時30分～3時

ところ…倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

演題…「あしたの元気になるあれ」（仮題）人間ってええなあ生きてるっておもしろいなあ

内容…生いたちや被差別体験を通して差別とは何かを考え、立ち向かう勇氣と希望を

講師…松村智広さん（財）反差別・人権研究所みえ主任研究員

受講料…無料

※鳥取県民カレッジ連携講座です。お気軽にご参加ください。

おわびと訂正

市報7月号に間違いがありました。おわびして訂正します。

△11頁の4段目▽

同和教育講演会（鳥取県主催）の講師のお名前

正…石元 清英さん
誤…石本 清英さん



子育ては家庭から 家庭教育⑧



生涯学習課
TEL22-8167/FAX22-1638

さまざまな体験活動が子どもを成長させます

体験は子どもの心の成長にとっても大切で、道徳感覚や正義感など豊かな心を育てます。

小さいころからのさまざまな体験を通して、子どもは感覚を働かせ、運動し、ものをつくり、想像します。

また、さまざまな体験活動を通じて家族や周囲の人々、地域や社会のために何かをすることで喜びを感じるといふ、人間としてごく自然な温かい感情がわき起こってきます。

人生で大切なことは、自然の中で学ぶことが多い

テレビやテレビゲームなど屋内の遊びが増え、自然の中で遊ぶことが少なくなっています。

屋外で遊ぶことをすすめたり、実際に自然の中に連れ出し、遊ぶことで、驚きや感動を体験し、豊かな感性を育むとともに、自然や環境を大事にするこの大切なことを学びます。

地域の自然に親しむ活動に子どもだけで参加させたり、時には家族ぐるみで参加するのも良いでしょう。



○谷ロジロー『通かな町へ』小学館

往時茫々(おうじぼうぼう)

倉吉市長 長谷川 稔

若者定住に「新成人のつどい」とともに重視している「商工従業員激励大会」を開催しました。

昨年末からの急激な不況、景気低迷による先の見通しの悪い中で、新社会人の一步を踏み出されたその顔ぶれに、変化と新たな兆しが見られました。自動車や電子部品の製造業では、需給調整によりこの半年でも山あり、谷ありを経験されたことだと思います。

また、社会的ニーズの高い医療職をはじめ、規定で案内ができていなかった(来年からは呼びかけが必要のある)介護福祉の皆さんには、国による報酬アップで待遇の向上を願わずにはおれませんでした。

本市に本社をおき、全国さらには海外で事業展開を行う事業所からは、Uターンを希望する地元出身者を確保しているとのことでした。この人材のサイクルこそ、将来にわたってコミュニティを成り立たせるものとなります。

また、テーブルを囲んだホテルやスーパードで働かれる皆さんを前にしては、私自身、高校を終え、大阪のホテルに就職、しかし都会に出てから家族と望郷の念が強くなり、一年で帰郷し、スーパードの仕事に励んだ日々を思い返し、二重写しとなって口にしたのはやつとの思いで「がんばりましょう」のそれだけになってしまいました。

講演いただいた作家の丁田政二郎さんからは、「倉吉のためにという部分と、自分のためにという部分のバランスを取って、気負わずに両立させていって欲しい」と参加者の気持ちを包んでいただきました。

季節は夏、あちこちで大小の夏祭りがあり、小さな単位になるほど全員総出、役員さんはフル回転、その熱意には頭が下がります。そこでの館長さんの歌声は、懐かしい舟木一夫の「仲間たち」でした。

今さらのようにつくづく思います。人が地域をつくり、体験という歴史をつくることを。

高校野球の熱闘が続いています。厳しい結果の場合、選手はその後しばらくは、後輩の試合も見ることでできないというくらい、酷な面があります。ことわざに「時は偉大なる治療師」とあり、やがて時がいかなる哀しみも癒してくれることを信じます。

시나브로 한국
シナプロ 韓国 No.4
国際交流員
チョン ヨンウック
鄭 然旭
韓国出身

最高額のお札が新登場

旅行で韓国に行ったことのある日本の友人たちに「空港に着いてウォンに両替すると、お金持ちになった気分になる」とよく聞きます。その理由は、日本円をウォンに換金すると、お札の枚数が増えるからです。

換金は、毎日変動する為替レートによってされるのですが、円高が続く今日、5万円を両替すると韓国の1万ウォン札で約70枚になり、財布に入りきらないほどです。

とはいっても、韓国の1万ウォンは日本の千円のような感覚で使うので、たちまち減っていくのですが、一度に約70枚の1万ウォン札を手に

すると、なんだかうれしくなります。

そんな韓国に、今年7月から新しく5万ウォン札が登場しました。これは1973年に1万ウォン札が最高額札として発行されて以来、36年ぶりに新札が発行されたこととなります。

そのため、これからは5万円をウォンに両替した場合、5万ウォン札で14枚程度になります。これまで両替するたびに分厚くなった財布を見てお金持ち気分を味わっていたのに、それができなくなるのは少し寂しいです。

ところで、新5万ウォン札のモデルはだれでしょうか。なんと韓国初の女性が起用されました。モデルになった人物は「申師任堂」という人で、5千ウォン札のモデルである朝鮮時代中期の有名な儒学者「栗谷(号名)李珥」を育て上げた母であり、韓国では「良妻賢母」の鑑として有名です。詩書画にも優れた才能を持ち、5万ウォン札の裏にある絵も彼女の作品です。

5万ウォン札の発行にあ

たっては、それによる物価上昇の心配や朝鮮時代の前期と中期に偏ったモデル選定、ほかのお札との色別問題などさまざまな懸念もありましたが、高額札がないため、無数に発行される小切手の発行手数料や使用時の不便さ、物価に合った高額札の必要性などを考えると、喜ばしい出来事だと思います。

ちなみに5万ウォン札と5千ウォン札のモデルの二人は、私の故郷である江陵の出身で、黒竹で囲まれた生家「烏竹軒」は、有名な観光スポットです。

《今月の一言》

여러분, 부자 되세요!
皆さん、お金持ちになりますように!



▶新しい5万ウォン札の表と裏

キラ★リ

No.38

鳥取打吹ソフトボールクラブ

むらお よしあき
村尾 欣亮さん

(キャプテン・レフト・写真左)

おがわ こうじ
小川 浩司さん

(副キャプテン・セカンド・写真右)



★チームについて——現在、19歳～40歳の監督・コーチ・選手・マネージャーの計20人で活動しています。

9月18日から秋田県で行われる、全日本総合選手権全国大会への出場を決めているので、1勝以上することと、国体に出場できるようにミニ国体での優勝を目指して、チーム一丸となって戦います。

★お仕事・入団のきっかけ・最近の話題・目標

村尾さん——

新車中古車販売・買取・車検・修理などを扱う(有)西尾モータースの展示場、オートステージニシオで営業の仕事をしています。日曜日は仕事があるので、平日の練習は参加できますが、日曜日の練習には参加できません。

高校の部活でソフトボール部に入っていて、そのときの恩師がチームに入っていました。そのころから練習に参加したり、練習試合をしていました。高校卒業後は軟式野球をしていましたが、ソフトボールが好きでやりたいと思っていたところ、恩師の誘いがあり入部を決めました。

練習日以外の休日はできるだけ子どもと過ごすようにしていて、近くの公園でキャッチボールをしたり、サッカーボールをけったり、一緒に体を動かすようにしています。

小川さん——

県立倉吉農業高等学校の祥雲寮で専任舎監として勤務しています。現在男女合わせて84人の生徒が入寮しており、毎日生活指導や寮運営に携わっています。

島根県益田市の出身で、大学を卒業後は島根県の高校に勤務していました。休日に地区の草ソフトボールをしていましたが、物足りなさを感じていました。そんなとき、大学の後輩にチームの話聞き、もう一度レベルの高い競技生活を送り、自分自身輝きたいと思いこのチームに入りました。

ミニ国体、全日本総合選手権で良い成績が残せるように頑張ります。

鳥取打吹ソフトボールクラブ

練習：火・木曜日(午後7時～10時)、日曜日(午前9時～正午)

／旧倉吉産業高校グラウンド

HPアドレス：<http://www.ikz.jp/hp/utsubuki/>

第3回とりたん

オープンキャンパス開催！

第3回目のオープンキャンパスは、「卒業生パネルディスカッション」を行います。とりたんの卒業生が学生時代、今を熱く語ります。そのほかにも、楽しい企画が盛りだくさん！

と き：8月23日(日)

11:15～15:30 (受付：10:30～)

ところ：鳥取短期大学

◎卒業生パネルディスカッション

◎保護者対象説明会

◎なんでも相談コーナー

(社会人相談コーナーなど)

◎学科別授業体験

・団子はなぜ丸い？～日本人の靈魂観～

・検証！世界のマナーとコミュニケーション

・知って得する法律知識

・自己紹介シート作成にチャレンジ！

・スタンドグラスで携帯ストラップをつくろう！

・仕口と継手ってなに？

～日本建築の隠された知恵～

・とりすぎた栄養のゆくえ

・チーズの探求

～カッテージチーズを作ってみよう～

・カオ・かお・顔…子どもの絵の不思議

・楽しい子どもの遊びうた

QRコードで
簡単お申し込み



昼 食：無料

無料送迎バス

倉吉駅(4番バス乗り場)発：10:40、11:00

短大発：15:40、15:55

※申込・問合せ先：鳥取短期大学入試広報課

(TEL 26-9171)

ホームページが新しくなりました！

とりたんの最新情報のほか、5つの学科専攻(国際文化交流学科/生活学科情報・経営専攻/生活学科住居・デザイン専攻/生活学科食物栄養専攻/幼児教育保育学科)からの最新情報をいち早くみなさんにお届けします。

鳥取短期大学

を検索！！

とりたん なんでも相談会

in Summer

と き：8月6日(木) 15:00～19:30

ところ：鳥取短期大学

※倉吉駅より無料送迎バスあり

編集後記

■人が書いた字を見るのが好きです。字は、まさに十人十色。ゆったりした字、固い字、元気な字…。性格が表れるともいいます。高校生のとき、ある先生が、ノートに書かれた私の字を見て、「一見整っていきいに見えるが、一画一画はバラバラでゆがんでいる」と友人に言ったそうです。自分の性格と照らし合わせてみると…結構、当たっています(Y.T.)

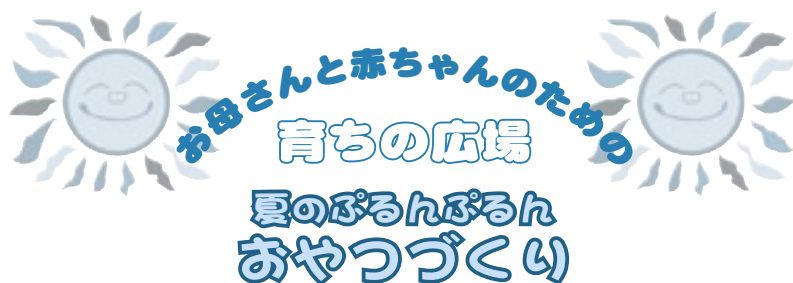
■本屋に行くことが好きで、ふらっと寄っては、好きな著者の新作が出ていないか確認しています。ただ、買ったことで満足して、なかなか読まないで順番待ちの本がたまっていく一方で。この夏は涼しい部屋で読書も良いかなと思います(K.K.)

●倉吉市の人口 (基本台帳)

24,180人(－12)男
26,942人(－30)女
51,122人(－42)計
20,318世帯(+17)

●外国人登録者数

107人(－1)男
190人(－2)女
297人(－3)計
247世帯(－3)
(H21.6.30現在)



暑い夏の到来です。食欲も減少し、子どもたちに何を食べさせようかと悩み多い時期ですね。今回は、のどごしすっきり、おやつなのに栄養価も高い！簡単に作れるおやつメニューをご紹介します。親子で一緒につくってみませんか？

と き：8月26日(水) 午前10時～正午

ところ：子育て総合支援センター「おひさま」

対 象：1歳以上の子どもと保護者(先着30組)

講 師：杉本 若菜さん(子ども家庭課・管理栄養士)

メニュー：ミニトマトのゼリー、ココナッツフルーツ

参加費：無料

申込期限：8月20日(木)

※申込・問合せ先：子育て総合支援センター「おひさま」(TEL/FAX 22-3914)